

市民の声

南国市議選に思う

賑やかな市議選、戦の字を使いたいような騒々しい選挙も終り木の葉も色つき静かに「物思い」にふける秋が帰ってきました。

〇〇候補でございます。いつもお世話になっております。よろしくお願ひします。今日も元気でがんばっています……スピー

カーから流れるというよりも飛び出してくる声が蜂の巣をつついたように入り乱れて交錯する。候補者の必死の叫び声はむしろ「物のあわれ」を感じるくらいでした。今回は立会演説もなく、政見の発表もなく、何を言はばるのか、何を頼みするのか理解できず、只々候補者の名前を……の十日間でした。しかし三、四名の候補者の街頭演説を聞いた時には非常



に好感を持つ事ができたのはせめてもの救いでした。開票の結果、実力のある候補者

信頼のできる候補者が全員当選した事はうれしい事であり、当然の結果でもある。市政を背負ったつ実力者と思われ候補者よりも新人候補の得票数が多い現実には、多くの市民の方々が新人に大きな期待をかけていることあらわれ、新人の方々も期待にこたえて、ベテラン議員に優る仕事をしていただきたいとお願ひする次第です。

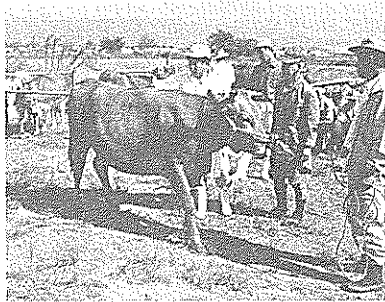
今回の選挙では候補者の政見を聞けなかった事を残念に思っています。今後は議員の働きぶりを通じて

て市政に対する考え方をじっくり拝見したいと思います。

市制施行二十年を過ぎた南国市の今後の選挙には、候補者の政見を市民に周知できる様な手段を考えてもらいたい。選挙管理委員会には是非お願ひします。

秋の夜長にこんな事を考えているのは私一人でしょうか。

島村辰彦(大地)



第五回南国・山田和牛共進会開かれる

好天に恵まれた十月三十日、市農協ライスセンター敷地内で、恒例の第五回南国・山田和牛共進会(土佐褐毛和種)が開かれました。ひと昔前は農家では必ず一、二頭は農耕用に飼っていたものが、今では県下で約九千八百頭、南国・山田管内でも約八十頭と激減。ほとんどが、お年寄りの「たのしみ」で飼われているものが多く、今回の出品頭数は二十一頭とやや淋しいものになりました。

成績は次のとおりです。

■第一部(生後六カ月未満の育成牛) 〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

例の第五回南国・山田和牛共進会(土佐褐毛和種)が開かれました。ひと昔前は農家では必ず一、二頭は農耕用に飼っていたものが、今では県下で約九千八百頭、南国・山田管内でも約八十頭と激減。ほとんどが、お年寄りの「たのしみ」で飼われているものが多く、今回の出品頭数は二十一頭とやや淋しいものになりました。

町、宮地二) 〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

例の第五回南国・山田和牛共進会(土佐褐毛和種)が開かれました。ひと昔前は農家では必ず一、二頭は農耕用に飼っていたものが、今では県下で約九千八百頭、南国・山田管内でも約八十頭と激減。ほとんどが、お年寄りの「たのしみ」で飼われているものが多く、今回の出品頭数は二十一頭とやや淋しいものになりました。

〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

例の第五回南国・山田和牛共進会(土佐褐毛和種)が開かれました。ひと昔前は農家では必ず一、二頭は農耕用に飼っていたものが、今では県下で約九千八百頭、南国・山田管内でも約八十頭と激減。ほとんどが、お年寄りの「たのしみ」で飼われているものが多く、今回の出品頭数は二十一頭とやや淋しいものになりました。

〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

〇最優秀ははじめ号(土佐山田町、宮地二)

例の第五回南国・山田和牛共進会(土佐褐毛和種)が開かれました。ひと昔前は農家では必ず一、二頭は農耕用に飼っていたものが、今では県下で約九千八百頭、南国・山田管内でも約八十頭と激減。ほとんどが、お年寄りの「たのしみ」で飼われているものが多く、今回の出品頭数は二十一頭とやや淋しいものになりました。

県消防団操法大会が開かれる

十月三十日、県消防学校(伊野町)で県下消防団操法大会が開かれ、ポンプ自動車部に十八チームが参加、南国からも香南分団が出場、日頃の訓練の成果を発揮して健闘しましたが、おしくも入賞はなりません。この競技は、消火技術の基本

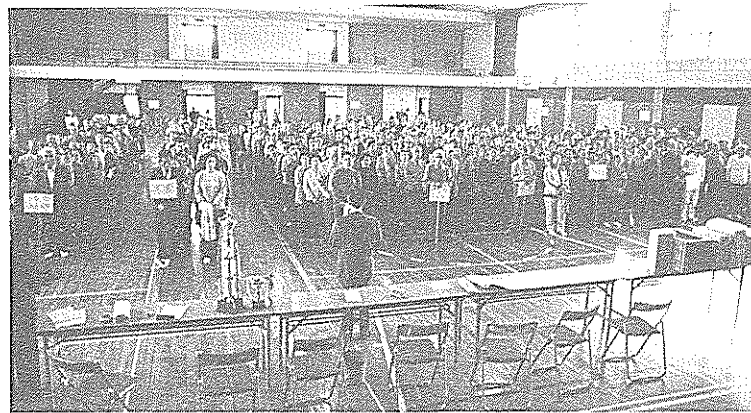


フを約九十枚合わせて一枚のひざかけができあがっています。

当日は、浜田会長ら役員十名が清風園を訪れ、会員みんなの力を出し合って作った「あたたかい贈り物」を中川善水園長に手渡しました。

「第三回南国市老人体育大会」が十月二十七日(土)、市民体育館に市内各地から約八百人のお年寄りが参加して開かれ、体力の維持と親睦のために競技、応援、余興に汗を流しました。

大会は十時から各地区ごとに整列、利便老人クラブ連合会長が「お互い年をとって考えると考えることは健康といきがいです。心身のたれんのうち「心」の方は老人学



体力の維持と—生きがいを深めよう— 800人が参加して『老人体育大会』

級などその機会は比較的多いが、「身」の方はめったにないのが、六十歳以上の人口は、全国で五十一・七、八・五人に一人であったものが、六十年には十四・一、七・八・二人に一人、九十年には十二・二、四・五人に一人が老人ということになる見込みです。

南国市についてみると、六十歳以上の人口は、五十一・七、八・五人に一人、九十年には十二・二、四・五人に一人が老人ということになる見込みです。

が実状です。今日は絶好の身体づくりの機会です。勝敗にこだわらず、楽しく愉快な一日にしてください。また来年いよいよと最後に言える大会にしてください。とあいさつ。選手代表の服部坂本清男さんが「健康保持と生きがいをモットーとしてルールを守り最後まで戦うことを誓います。」と宣誓、競技に入りました。

競技は三時すぎまで、スプーンレースや玉入れなど八種目を市内八チームで競いました。

応援合戦など活発に行われほんとうに楽しい一日となりました。成績は次のとおりです。

①三和②日章③稲生・十市④岡豊⑤後免・野田・大森⑥上倉・鹿岩・久礼田・国府⑦長岡⑧前浜・岩村市内には八十九組、約四千八百人のお年寄りが連合会を結成、活動をしていますが、やがてやってくる老人社会を行政はじめみんなが真剣に考えなくてはならないと思います。

市連合婦人会(浜田弥芳会長)が十一月一日、特別養護老人ホーム「土佐清風園」を訪れ、手作りの「ひざかけ」三十七枚をプレゼントしました。

「百まで走ろう会」が予告タイム駅伝南国大会(なお、時間は予告タイムとの誤差、年齢は四人の年齢を合計したものです)

予告タイム駅伝南国大会が十月二十八日、市民体育館周辺の四区間、七・五のコースで開かれました。

レースは、予告タイムと実際の記録との誤差の少なさを競うもので、当日は市内をはじめ高知市、安芸市などから、四人編成(女性一人を含める)の十八チームが参加しました。結果は次のとおり。

①土佐百まで走ろう会A(高知市) 〇一分十七秒(一九八歳) 〇地村(高知市) 〇一分十七秒(九二歳) ③瓶岩体育会B(南国市、宮地敏紀・岡崎美智・坂本行由・岡学) 〇一分五十一秒(一〇五歳) ④ピタリズ(高知市) 〇一分五十八秒(一二七歳) ⑤中野団地(高知市) 〇二分三秒(一七二歳) ⑥ピタリズ(南国市、島本理夫・島本美代子・島本頼幸・大井政之) 〇二分十三秒(一九一歳) 〇区間賞・マ二区 〇北村鷹子(高知市・四秒) 〇マ三区 〇西森昭夫(高知市・十二秒) 〇マ四区 〇高橋謙蔵(安芸市・〇秒) 〇マ五区 〇ベテラン賞・川谷年治(安芸市) 〇ラッキー賞・野村嘉一(瓶岩体育会A)

老人ホームにひざかけのプレゼント

このひざかけは、市内各地の婦人会員らが「リホーム(資源再利用)運動」として残り毛糸を使って作ったもの。それぞれの会員が作った一〇センチ四方の「モチー